

日本の状況

社会の方向性

企業の価値観

これまで

物価の下落と
経済の縮小

Only1

他との違いで
利益をあげる

教育を取り巻く新しい社会

これから



予測不能な状況



多様性

持続可能な仕組みを
つくり社会と共に存する

これから求められること

「持続可能な未来を
考える」チカラ

未知へ対峙する思考

未知に対する想像力と
カタチにするデザイン力

自ら学び続ける姿勢を伸ばす力をつける



「虹色コンパス」とは、高校生自らが考え、学び、行動し、「自分の中の確かなモノ」を探る取り組みです。 「虹色コンパス」の取り組みが、高校生一人ひとりの人生の羅針盤となって、かけがえのない高校生活を未来の架け橋とし、それぞれの進路に向かって歩んでほしいという願いを込めています。

零高虹色
コンパス

vol.1

• 零石高校キャリア教育支援「虹色コンパス」

高 校の授業には、生徒が主体的に課題を発見し 解決していく能力の育成を目的とした「総合的な探究の時間」の授業があります。零石高校生は、「総合的な探究の時間」の授業で行われる零石高校独自のキャリア教育=「虹色コンパス」に取り組んでいます。

虹色コンパスの様子は
零石町公式youtube
でチェック!



発行:零石町 作成:NPO法人まちサポ零石

「学生」は自ら学ぶことを求められます。何か疑問に思ったとき、何かを感じたとき、自分やみんなで考えること。自分だったらどうするか考える。そこから自ら学ぶはスタートします。自分が楽しいと思える学びを見つけてほしいです。



いわてNPO-NET
サポート事務局長
菊池 広人 先生
盛岡第一高校や大船渡高校などの地域探究プログラムの支援を行なっている。

虹色コンパスで楽しかったこと・興味が出たこと

クラスのいろいろ人の考え方や意見を聞けるのはすごく楽しいです。

難しかったこと・考えられなかったこと

これまで、自分が言いたいことを先生や大人が汲み取って会話をしていたが、これからは自分の考えを明確にして、その上で伝えなくてはいけないことが難しいなと思いました。

今後期待すること

いろんな職業の人々に話を聞いて、色々なことに視野を広げていきたいです。



1年生
坂下 碧さん
好きな授業:国語



2年生
沼崎 拓くん
好きな授業:社会と英語

県 立雲石高校は昭和23年に岩手県立盛岡第一高等学校の夜間定時制雲石分校として開校しました。その後、昭和43年に岩手県立雲石高等学校として独立。丁寧な学習指導と、海外派遣事業による雲石高校の生徒のホームステイなど文学にも励んでいます。また、生徒会活動や委員会活動の中で被災地交流や、ボランティア活動により地域貢献にも積極的に取り組んでいます。郷土芸能委員会やボート部など全国で活躍する部活動も存在し、生徒の活躍が素晴らしいです。



1年生のプログラム

- そもそも「なぜ学ぶか」を考える
- チームで「地域の課題」を解決するアクションを実践する
- 個人で自分が大切にしたいテーマ・関心領域を活かして「地域の課題」をさらに深める

2年生のプログラム

- 自分が学びたいこと、深めたいことが社会でどのように活かせるかを考える
- インターンシップにより、自分が学びたいこと・深めたいことが社会でどのように活用できるかを検証し、自分らしく磨いていく

講義形式



グループワーク



オンライン



$$\text{地 域} + \text{学 校} = \text{学びの深化}$$

1 町内からの入学生には制服代など入学時に必要な経費の一部が補助されます。

2 町外から通学する生徒には定期券など公共交通機関による交通費の一部が補助されます。

3 雲高ランチ希望する生徒は1食200円で地元産食材中心のおかずが食べられます。

4 ドイツ友好都市交流訪問海外渡航費用の一部が補助されます。

5 オープンキャンパス参加県外の大学のオープンキャンパスに参加する際の交通費や宿泊費の一部が補助されます。

6 奨学資金貸付卒業後進学し、雲石町に居住し、かつ、事業所に正規雇用された雲石高校出身者は奨学資金の2分の1の返済が免除されます。